

## 損保業界唯一、3年連続で東京都スポーツ推進企業※に認定！

2017年11月30日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長：金杉 恭三)は、「明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする『個性豊かで特色ある会社』」を目指し、全社を挙げて障がい者スポーツ支援を実施しています。

このような当社の活動が評価され、11月30日に、東京都より3年連続でスポーツ推進企業に認定されましたのでお知らせいたします。

当社は、2006年に(一社)日本車椅子バスケットボール連盟日本代表の公式スポンサーとして障がい者スポーツ支援を開始し、以来、2014年に(公財)日本障がい者スポーツ協会の公式パートナー契約を締結、2016年に(一社)日本身体障がい者水泳連盟のオフィシャルスポンサー契約を締結する等、全国各地で障がい者スポーツ支援の取り組みを展開しています。

「観て、感じて、考える」をスローガンとした社員による大会応援からスタートし、その活動を通じて得た多くのヒントを、現在の多様な取り組みにつなげています。

今回、全国での各種活動が評価され、3年連続で認定を得ることができました。

### 【当社の取り組みテーマ】

当社は、障がい者スポーツ支援の取り組みや社員参加のスポーツ活動、社内健康増進の取り組みなど、合わせて14テーマ(29取り組み)を申請し、東京都より認定を受けました。

- ①アスリート雇用(障がい者選手16名、健常者選手4名) ※11月30日現在
- ②全国での障がい者スポーツ大会への社員応援
- ③全国各地のスポーツ大会での運営ボランティア
- ④全国での障がい者スポーツ理解および普及活動
- ⑤雇用アスリートに対する教育・研修
- ⑥障がい者スポーツ関連団体への支援(協賛、寄贈、人財派遣等)
- ⑦スポーツ振興、とりわけ障がい者スポーツ支援活動の対外発信
- ⑧デフリンピック等国際大会壮行会
- ⑨パラアスリート・スカラシップ制度の創設
- ⑩障がい者スポーツを通じた教育支援
- ⑪スポーツ振興、とりわけ障がい者スポーツ支援による自治体との連携協定
- ⑫保険代理店を巻き込んだ地域貢献活動
- ⑬経済団体(オリンピック・パラリンピック等経済界協議会など)におけるレガシー創造への参画
- ⑭保険代理店、取引企業等に対する支援の輪の拡大

### 【認定理由となった主な取り組み】

上記の多くの取り組みが評価されましたが、とりわけ、以下の4点について、他社にない取り組み、極めて内容の濃い取り組みと高い評価をいただきました。

- パラアスリート・スカラシップ制度の創設(上記⑨)
- アスリート雇用(上記①)
- 保険代理店、取引企業等に対する支援の輪の拡大(上記⑭)
- 障がい者スポーツを通じた教育支援(上記⑩)

当社の障がい者スポーツ支援の取り組みにつきましては、障がい者スポーツ支援 web サイト

「AD Challenge Support」にてご覧いただけます。

◆標語

**「観て、感じて、考える」**

- ・当社障がい者スポーツ支援の取組みの柱の1つである大会応援を促す際の共通標語として社内で使用。
- ・まずは、大会の現場を観ることが大事であるとの考えから始まることを伝えるための標語。

 **AD Challenge Support**

**障がい者スポーツ  
応援サイト**

**ADチャレンジ** **検索**



※【東京都スポーツ推進企業とは】

2015年度から東京都が制定した制度。従業員のスポーツ活動の促進に向けた取組やスポーツ分野における支援を実施している企業等を、申請に基づき「東京都スポーツ推進企業」として東京都が認定するものです。

認定された企業には、認定証及び認定マークの交付、並びに都ホームページにて社名等の公表が行われます。

この中から、特に社会的な影響や波及効果の大きい取組をしている企業等が「東京都スポーツ推進モデル企業」として選定、表彰されます。

以上